

研究業績(著書・論文) 当院の療法士スタッフを下線で記載.

更新日 : 2015/5/31

【著書】

1. 臨床思考を踏まえる理学療法プラクティス. 筋緊張に挑む.
齊藤秀之、加藤 浩 (編), 和田陽介(分担執筆).
文光堂, 2015
2. PT・OTのための臨床技能と OSCE. コミュニケーションと介助・検査測定編.
才藤栄一(監)、金田嘉清、富田昌夫、澤 俊二、大塚 圭、山田将之、杉山智久(編)
和田陽介(分担執筆).
金原出版, 2015
3. バランス運動の理論と実際.
竹島伸生、マイケルロジャース(編), 和田陽介(分担執筆).
NAP, 2010
4. 動画で学ぶ脳卒中のリハビリテーション.
園田 茂(編), 和田陽介(分担執筆).
医学書院, 2005
5. FIT プログラム 統合的高密度リハビリ病棟の実現に向けて.
才藤栄一、園田 茂(編), 和田陽介(分担執筆).
医学書院, 2003

【論文】

< 脳卒中リハ関連 >

1. 脳卒中患者の足関節背屈重度麻痺に対するミラーセラピーの効果.
和田陽介, 近藤和泉, 園田 茂, 山田佳代子, 生川暁久, 川上健司,
野々山紗矢果, 宮坂裕之, 寺西利生, 永井将太, 竹島伸生.
Jpn J Compr Rehabil Sci 2, 71-76, 2011
2. Preliminary Trial to Increase Gait Velocity with High Speed Treadmill
Training for Patients with Hemiplegia.
Wada Y, Kondo I, Sonoda S, Miyasaka H, Teranishi T, Nagai S, Saitoh E.
Am J Phys Med Rehabil 89, 683-687, 2010
3. FIT program を受けた脳卒中患者の退院後調査
- FIM 質問紙(Flow-FIM)を用いて -
和田陽介, 園田 茂, 永井将太, 國分実伸, 奥山夕子, 川北美奈子, 寺西利生,
近藤和泉
脳卒中,32(2),138-145, 2010
4. How effective is the early fast treadmill gait speed training for stroke patients at the 2nd
week after admission: comparison with comfortable gait speed at the 6th week.
Yamada S, Tomida K, Tanino G, Suzuki A, Kawakami K, Kubota S, Yanohara R, Katoh Y,
Wada Y, Teranishi T, Orand A, Tomita Y, Sonoda S.
J Phys Ther Sci. 27, 1247-1250, 2015
5. 脳卒中麻痺側手関節背屈筋への随意運動介助型電気刺激 -保持効果の経時変化-
宇佐見千恵子, 宮坂裕之, 植松 瞳, 近藤和泉, 富田 豊, 園田 茂
脳卒中,35(3),174-180, 2013

6. 脳卒中患者の回復期リハビリテーション病棟退院後の転倒予測要因に関する研究.
川上健司, 和田陽介, 田村恵美, 伊藤美致世, 田中和加奈, 寺西利生, 奥山夕子,
近藤和泉, 園田 茂
理学療法学, 39(2), 73-81, 2012
7. 蛋白同化ホルモン投与による脳卒中片麻痺側下肢筋力の経時変化.
富田 憲, 園田 茂, 谷野元一, 岡本さやか, 永井将太, 和田陽介, 寺西利生
理学療法科学, 27(1), 1-5, 2012
8. A discriminative measure for static postural control ability to prevent in-hospital falls:
Reliability and validity of the Standing Test for Imbalance and Disequilibrium (SIDE).
Teranishi T, Kondo I, Sonoda S, Kagaya H, Wada Y, Miyasaka H, Tanino G, Narita W,
Sakurai H, Okada M, Saitoh E.
Jpn J Compr Rehabil Sci 1, 11-16, 2010
9. 随意運動介助型電気刺激を用いた脳卒中麻痺側手関節背屈運動の保持
-治療開始時の筋緊張による影響-
宮坂裕之, 近藤和泉, 安井千恵子, 加藤啓之, 植松 瞳, 谷 明奈, 宮田幹子,
寺西利生, 和田陽介, 園田 茂.
総合リハ, 38, 65-71, 2010
10. 随意運動介助型電気刺激の適用時期が脳卒中患者の上肢機能改善に与える影響
宮坂裕之, 近藤和泉, 河野光伸, 安井千恵子, 加藤啓之, 植松 瞳, 谷 明奈,
宮田幹子, 村岡慶裕, 園田 茂.
総合リハ, 37, 945-950, 2009
11. 脳卒中上肢機能的スキル評価尺度(Functional Skills Measure After Paralysis: FSMAP)
の信頼性と妥当性
加藤啓之, 宮坂裕之, 安井千恵子, 中西千佳子, 近藤和泉, 園田 茂
作業療法ジャーナル, 46, 286-291.2012

12. 脳卒中麻痺側上肢運動覚障害に対する電気刺激の有効性 予備的検討
加藤啓之, 宮坂裕之, 安井千恵子, 植松 瞳, 近藤和泉, 園田 茂
作業療法ジャーナル, 45, 60-64. 2011

13. 脳卒中患者の麻痺側足関節背屈に対するミラーセラピーの効果.
平野佳代子, 永井将太, 和田陽介, 野々山紗矢果, 生川暁久, 大沼さゆり, 川上健司,
西尾美和子, 寺西利生, 園田 茂.
総合リハ, 36, 683-688. 2008

< 運動器リハ関連 >

14. 人工膝関節全置換術患者の心理状態が関節可動域獲得に及ぼす影響
坂本梨香, 瀧 昌也, 荒木清美, 中村康治, 大嶋さゆり, 高見千由里,
小野木啓子, 加賀谷斉, 小宮浩一郎
愛知県理学療法学会誌, 24, 23-27, 2012

15. 人工膝関節全置換術患者の関節位置覚と重心動揺の変化
瀧 昌也, 荒木清美, 坂本梨香, 清水康裕, 加賀谷斉, 才藤栄一
臨床理学療法研究, 27, 51-54, 2010

16. 高校サッカー選手における筋肉量と運動能力との関係.
角田利彦, 木村洋介, 吉原智也, 仲村康平, 中川雄樹, 安田 公, 辻村 享,
朴 英浩, 櫻井宏明, 渡邊丈眞.
東海スポーツ傷害研究会会誌 28, 20-22, 2010

17. 地域の高校サッカー選手におけるスポーツ傷害発生の実態.
角田利彦, 木村洋介, 佐々木夕起, 安田 公, 辻村 享, 渡邊丈眞.
東海スポーツ傷害研究会会誌 29, 16-18, 2011

18. 当院回復期リハビリ病棟での転倒対策.

角田利彦, 櫻井宏明, 水野紀子, 木村洋介, 舟橋 輝, 大矢慈子, 芳賀麻衣,
早川真美, 日比理恵, 高橋由美, 松島直子, 安田 公, 渡邊丈眞, 中川武夫,
馬場 尊, 辻村 享, 辻村 明.

Osteoporosis Japan 15(2), 307-309, 2007

19. 腸骨棘裂離骨折の発症状況についてのアンケート調査結果.

吉原智也, 角田利彦, 木村洋介, 安田 公, 辻村 享, 中川武夫.

東海スポーツ傷害研究会会誌 29, 7-9, 2011

< その他 >

20. 生活動作別の転倒・転落予防の実際. 歩行：基礎編.

和田陽介

リハビリナース, 8(3), 31-36, 2015

21. 生活動作別の転倒・転落予防の実際. 歩行：応用編(方向転換).

中川雄樹

リハビリナース, 8(3), 37-41, 2015

22. コミュニケーションノートを用いたスキルアップ支援法.

角田利彦, 櫻井宏明, 木村洋介, 安田 公, 辻村 享.

理学療法ジャーナル 44(12), 1124-1125, 2010

23. フローチャート式 FIM 質問紙(Flow-FIM)の妥当性・信頼性の検討

青木哲也, 永井将太, 園田 茂, 新谷実伸, 和田陽介, 登立奈美, 長由希子,
今西ひろみ

総合リハ, 33, 355-359, 2005

24. 患者と家族に対する脳卒中リハビリテーション教室の効果

新谷実伸, 永井将太, 園田 茂, 川北美奈子, 和田陽介, 登立奈美, 今西ひろみ,
才藤栄一

総合リハ, 33, 179-185, 2005

25. 回復期リハビリテーション病棟の脳卒中患者において自宅復帰に影響する ADL 回復過程の特徴

辻村 享, 安田 公, 櫻井宏明, 和田陽介, 舟橋 輝, 板谷敬晴, 長谷安芸子,
福田由紀子, 中川武夫, 渡邊丈真

中京大学体育学論叢, 53, 43-48, 2012